



第47号

編集・発行人
ふれあいサンホーム編集委員会
<http://www.ksunhome.or.jp>

2016 2016 2016 2016 2016 2016 2016 2016 2016 2016 2016 2016 2016 2016 2016 2016 2016 2016

デイサービスセンター あわらサンホーム

特殊浴槽が新しくなりました！！



このたび公益財団法人JKA様の競輪補助事業「平成27年度福祉機器の整備補助事業」の採択を受け、デイサービスセンターあわらサンホームに車いす・ストレッチャー対応型リフト浴槽の整備を致しました。公益財団法人JKA様をはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。

『通所での日々』

金津サンホーム

生活支援員 後藤 弥生

私は今年の4月で入社して3年目になります。入社以来、入所施設の業務をしていましたが、去年の7月からは通所での業務にも携わるようになりました。

最初は入所施設での業務との違いに戸惑う毎日でしたが、最近ようやく慣れてきた気がします。通所では利用者さんだけでなく、ご家族の方とも関わる機会が多々あるので、入所施設での仕事とはまた違った緊張感を持って働いています。ご家族の方からいろいろな意見を頂戴すると身が引き締まる思いです。

また、「通所の楽しみ」にしている「など」といった嬉しい言葉も多く頂くので、とても励みになります。学生の方々も多く利用されているので、彼らの成長を間近で感じられることは楽しみでもあり、また、やりがいにも繋がっています。

まだまだ未熟ではありますが、周りの職員の協力を得ながら成長し、利用者の皆様には、過ごしやすく、通いやすい環境づくりをしていきたいです。



秋季警防訓練

秋季火災予防運動の一環として、南越消防組合中消防署と越前市消防団・御幸町自衛消防隊が一体となった火災防御、救急、避難誘導訓練が大々的に行われ、越前たけふサンホームが協力、参加することとなりました。越前たけふサンホームより出火との想定で警防訓練が始まり、消防署職員・消防団・当施設職員が一丸となって消火活動、避難誘導にあたりました。

避難テントでの処置や屋上からの避難訓練などいつもとは規模の違う訓練に利用者の皆さんも最初は戸惑いながらも、無事に救出され、訓練が無事終了すると、ほっとひと安心された様子でした。

こうした地域一体での警防訓練は初めてでしたが、あらためて地域の皆さんとの関わり合いや日頃からの防災意識の重要性を再確認することができました。

子供たちと一緒に楽しみました☆

武生南小学校4年生の児童たちが総合学習の一環として、越前たけふサンホームを訪れ、利用者のみなさんと交流会をおこないました。



児童たちは、この日のために試行錯誤し、練習した歌やレクリエーションを披露してくれました。

慣れない環境の中、一生懸命頑張っている児童の姿を見て、涙する利用者さんや、元気いっぱいな児童たちを見て、一緒に笑顔で楽しんでる利用者さんなど、とても楽しい一日となりました。



2016 2016 2016 2016 2016 2016 2016 2016 2016 2016 2016 2016 2016 2016 2016 2016 2016 2016 2016 2016

～安心で安全な入浴をしていただくために～



このたび、あわらサンホームでは公益財団法人JKA様の補助を受け、特殊浴槽が新しくなりました。車いす・ストレッチャー対応型のリフト浴槽になり、利用者の皆様には座ったままでも、寝たままでも、利用者の方々の身体状況に合わせた入浴をしていただく事ができます。

全職員が新しい特殊浴槽の使用方法について研修を行い、利用者の皆様には2月より新しい特殊浴槽で入浴をしていただいております。

～利用者さんの声～

- ・今までストレッチャーに横になるのが大変だったが、座ったまま入浴でき、そのまま横になることができるので、楽になった。
- ・浴槽が大きくなったので、ゆったりと入浴できる。

～職員の声～

- ・ストレッチャーの幅が広がったので、作業効率がよく、安全に介助できる。
- ・お湯が循環しているため、お湯がきれいで衛生的である。



紙芝居



ボランティアの方をお招きして、「読み聞かせ」を行いました。「嫁簀しの面」というあわら市吉崎に古くから伝わる肉付き面のお話です。

利用者さんの中にはご存知の方も多く、みなさん熱心に聞き入っていらっしゃいました。

園児たちとの交流



妙安寺こども園の園児たちが、あわらサンホームに遊びに来てくれました。園児たちは元気よく歌や踊りを披露してくれ、利用者のみなさんも手拍子をしたりとても嬉しそうに見ておられました。





毎年恒例！餅つき会

年末に毎年恒例の「餅つき会」を行いました。全部で十二日のお餅をつき、利用者のご家族や地元子供会の皆様のご協力のもと、あんこ餅・きなこ餅・おろし餅を作りました。

同時に大鍋を使って二百人分の豚汁も作り、利用者の皆さまやご家族、子供たちにつきたてのお餅と一緒に召し上がっていただきました。お餅も豚汁も大好評で、皆さん何度もお替りをして、おなかいっぱいのご様子でした。

また、上志比からボランティアの方たちに来ていただき、太鼓の演奏を披露していただきました。迫力のある演奏で皆さん身も心も大満足の日となりました。



サービスの質の向上を目指して



金津福祉会では虐待防止の取り組みとして、定期的に研修会や勉強会を行っています。今回、金津サンホームでは入所されている利用者の方々に「虐待防止に関するアンケート」実施しました。普段サービスを提供している中で、「差別的な用語を使われていませんか」、「威圧感を受ける態度をとられていませんか」など質問し、利用者の方々に意見を出していただきました。

そして利用者さんからの意見を受けて、生活支援員、看護師、事務員の全職員が今一度、利用者さんとのコミュニケーションについて振り返りました。

また、勉強会では利用者役、職員役、第三者役に分かれて、実際の支援の場面を設定し、ロールプレイを行い、各立場からの目線で意見を出し合いました。言葉遣いや表現の方法、目線や表情など、日々のサービスを提供する中で見過ごしていた所、気づけずにいた所がたくさんありました。

更なる向上に向けて、職員一人ひとりが人権意識を向上させ、また、職員の不適切な対応には職員同士が気づき、互いに注意できるように努めていきます。

☆電動ベッド購入☆



このたび公益財団法人福井銀行教育福祉財団様の平成二十七年援助事業である「学校・社会福祉団体等の整備充実に対する援助」事業に採択いただき、電動ベッド一式(一台)を購入いたしました。新しく購入したベッドは主にシヨートステイで利用し、利用者さんには安心安全な支援を提供したいと思っております。

編集後記

このたび福井県社会福祉協議会主催の「ふくし広報誌コンテスト2015」に広報誌「ふれあいサンホーム」を応募させていただきました。見事、広報誌部門 施設分野において「優秀賞」を頂くことができました。

今後も多くの方々に楽しんで読んでいただける広報誌を目指していきたいと思っております。



総務課 奥野